

学校保健と地域保健との連携会議

経緯等

■ 設置目的

学校や地域保健関係機関とのネットワークを強化し、こどもたちの健康づくりや疾病予防等に係る健康教育や相談体制等の充実を図ることを目的に設置

■ 構成

学校保健会代表（校長部会・学校医部会・学校歯科医部会・学校薬剤師部会）
学識経験者、各市の教育主管課長及び母子健康主管課長、保健所 等

■ 設置

平成 17 年度

近年の主な議題等

● 令和 4 年度

- ・検討課題を協議し「感染症」を複数年テーマとして選定
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況について説明
- ・子どもの感染症対策と課題について意見交換

● 令和 5 年度

- ・5類移行後の新型コロナウイルス感染症対策について説明
- ・Withコロナにおける学校現場の対応について意見交換
- ・平成24年度等に当会議で作成した児童・生徒を対象とした自殺対策教材（SOSを出していいんだよ！シリーズ）の改定版を配布

● 令和 6 年度

- ・感染症発生時の学校対応について説明
- ・新型コロナウイルス感染症対応を振り返り、学校現場や医療現場における児童生徒への対応について意見交換
- ・大麻の乱用や市販薬のオーバードーズ（過剰摂取）について説明



【R6 説明資料（抜粋）】
大麻入り食品（サンプル）

令和7年度開催内容

➤ 令和7年度8月18日（月曜日）午後2時から午後3時まで
(オンライン会議方式 委員20名中18名参加)

➤ 主なテーマ「子どもの自殺対策」

①「自殺の傾向と対策」(保健所説明)

- ・全国自殺者数は年々減少傾向にあるが、小中高生の自殺者数は近年増加傾向が続き、令和6年は過去最多
- ・令和7年6月改正の自殺対策基本法において「子どもの自殺防止等の取組に努めることが学校の責務」とされるなど、子どもに係る自殺対策を推進するための体制整備・措置について規定



令和7年度開催内容

②「こども・若者向け自殺対策事業」の取組・課題等について情報共有(圏域各市)
健康主管課・教育主管課等で実施している自殺対策について説明

(例) スクールソーシャルワーカーの活用促進、LINE・チャット相談、
母子保健分野と連携した課題の早期発見等

③ 講義「自殺防止教育の実際と課題」(東京学芸大学 渡邊名誉教授)

- ・こどもを直接対象とした自殺予防教育を実施するうえでの前提条件
- ・自殺防止教育実践例
- ・東京都教育委員会による「SOSの出し方に関する教育」について紹介
- ・自殺予防に関するQA 等



自殺対策に資する教育

命の大切さを
実感できる教育

様々な困難・ストレスへの対処
方法を身に付けるための教育
(SOSの出し方に関する教育)

心の健康の保持
に係る教育

令和7年度開催内容

④ 意見交換

- ・早期発見は学校の役割。何かあったら周りの信頼できる大人や窓口に相談するよう子どもたちに伝えている。
また、質を上げていかなければならないのは教職員による気づきの力であり、少しの変化に対しても組織的に対応することが大事と感じている。
- ・先ほどの講義において、「自殺防止教育では管理職である校長の意識のもち方がとても大事」という点に非常に共感した。今日この会議でその大切さもよく分かったので、各市で校長研修などあればよいと思う。

➤ その他、「感染症の動向」について保健所から情報提供

- ・多摩小平保健所感染症週報の紹介
- ・百日咳について説明

今後も、学校保健と地域保健との連携が必要な課題等について情報共有・関係者間で連携することにより、こどもたちの健康づくりに活かしていく。

